実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和６年度
助成団体	公益財団法人日本スポーツ協会
事業細目名	スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ）
事業名	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー育成
助成金額	6,072,000 円

令和６年度スポーツ団体スポーツ活動助成（スポーツ指導者の養成・活用）を活用し、公益財団法人日本スポーツ協会が実施した「日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー育成」の実施状況について調査を行いました。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（以下「JSPO-AT」という。）とは、1)スポーツ活動中の外傷・障害予防、2)コンディショニングやリコンディショニング、3)安全と健康管理 、および 4)医療資格者へ引き継ぐまでの救急対応という 4 つの役割に関する知識と実践する能力を活用し、スポーツをする人の安全と安心を確保したうえで、パフォーマンスの回復や向上を支援する役割を担います。日本代表やプロスポーツ選手などとして活動する競技者に限らず、地域スポーツクラブ、学校・大学等の運動部活動など、スポーツ活動をするすべての人々に対してサポートを行っています。本事業は、JSPO-AT を公認スポーツ指導者制度に基づき養成する事業です。

■助成の意義

助成金を受けたことにより、受講料を安価に設定することができ、受講者の経済的負担の軽減につながったとのことです。また、講師の増員や専門性の高い講師の招聘も可能となり、専門的な資格取得のための事業として、質の向上にもつながったそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

講習会当日には、受講者に対して実施内容等に関するアンケート調査を行います。その回答については講習会全体の内容や講師配置を検討する「コーディネーター」が把握し、翌日の講習会運営や次回以降の講習会内容の改善に活用しているとのことです。例として、救急対応に関する講習では、初日のアンケート結果を踏まえ、受講者のレベルや経験値に応じて 2 日目以降の講義内容を調整したそうです。

また、日本スポーツ協会のホームページには「メディカル・コンディショニング資格認定者検索ページ」が設けられており、資格取得後に本人が許諾した場合には、所属先や保有資格等の情報を掲載し、地域や競技種目ごとに JSPO-AT を検索できる仕組みが構築されていました。

資格取得後の資格の活用方法について課題となっているようですが、現在は検索システムの整備や全国の連絡協議会を通じた情報共有など、資格取得後の活動を支援する取り組みを行っているとのことでした。

■その他

今後の展望として、あらゆるスポーツ大会において JSPO-AT が配置されることで、安全なスポーツ環境の構築に寄与していきたいと考えられており、まずは国民スポーツ大会における都道府県選手団本部役員としての帯同義務化を目指しているとのことです。現在は「原則帯同」との位置づけですが、帯同実績や資格登録者数を踏まえて、将来的な完全義務化に向けて段階的に取り組んでいく方針が示されていました。

また、今後も引き続き各種施策に取り組みながら、JSPO-AT の認知度向上とともに、資格取得者の拡大を図っていきたいと考えられていました。

■所感

本事業を通じて、アスレティックトレーナーが競技力向上だけでなく、スポーツ現場における安全確保や健康管理の面で重要な役割を担っていることを改めて認識しました。特に、競技レベルや年齢を問わず、すべてのスポーツ実践者を支える存在として、今後ますます必要性が高まっていくと感じます。また、全国のスポーツ現場と JSPO-AT をつなぐ環境整備や受講者アンケートを即時に講習内容へ反映する仕組み、将来的な大会帯同義務化を見据えた方針など、資格の質と実効性を高めようとする取り組みが印象的でした。

本事業を通じて養成された JSPO-AT が、全国各地のスポーツ現場で活躍し、スポーツ環境全体の質の向上につながっていくことを願っています。

（令和 7 年 12 月 10 日往査）

（写真）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー育成の様子（写真提供：日本スポーツ協会）



